

板橋区長 坂本健 様

2023年8月17日
日本共産党板橋区議会議員団

熱中症対策についての緊急申し入れ

今年7月の東京の猛暑日の日数は過去最多となり、梅雨明け以降の気温上昇に伴い、熱中症による救急搬送も急増しています。東京都監察医務院の8月6日現在の集計では、今年都内で105人の方が熱中症で亡くなり、そのうち屋内で亡くなった人は、93人です。

板橋区でも、エアコンの使用や塩分・水分の補給といった熱中症への注意喚起を繰り返し行い、区内施設などで「一時休憩所」を設けるなどの対応が行われています。

しかし、屋内で亡くなった人の多くが、エアコンが使用されていない状況により、熱中症で亡くなっていることが指摘されています。注意喚起など従来の対策だけでは防ぎきれません。熱中症から命を守るための実効性ある対策が急務です。

特に、電気料金を含めた物価の高騰が深刻な中、経済的支援の強化が必要です。区民からは、「電気代が不安でエアコンを使えない」「先々の生活考えたらエアコンを制限している」などの声が寄せられています。

また、亡くなられた人のうち、多くが70歳以上の高齢者で、ひとり暮らしの人も少なくありません。見守りなどの支援も重要になっています。

よって、以下の事項を緊急に行うよう強く求めます。

記

- 1、熱中症から命を守るための電気代への支援を緊急に行うこと。
- 2、エアコンの購入・設置費用への助成を行うこと。
- 3、長時間滞在できる休憩所を設けること。
- 4、熱中症シェルターの設置や民生委員などによる熱中症予防のための見守りを積極的に行うこと。
- 5、救急搬送に遅れが出ないよう、救急や医療現場などへの体制強化を東京都へ働きかけること。

以上